

東北ダンブの



【発行】全日本建設交通一般労働組合(略称・建交労)東北ダンブ支部準備会
〒010-0976 秋田市八橋南 1-2-29
建交労秋田ダンブ支部内
Tel:018-823-7748 fax:018-823-7751
Email: kenkourouakita@bz03.plala.or.jp

2022年9月1日発行 NO.3

身勝手な首切りを許さないぞ

東北サンド…建交労の仲間がビラ配布

お盆明けの8月18日、仙台市の勾当台公園前でビラ配布をしました。当日は当事者である遠藤さんをふくめ東北の建交労の仲間5名が集まり、ビラ配布による市民の訴えを行いました。(ビラはウラ面に印刷、下の写真の左側はビラをわたす遠藤さん)

あいにくの雨で傘をさす人が多く、渡しづらい状況のためビラが思うように配布されませんでした。少しでも多く仙台市民に訴えるために太平洋セメントの支店がある近辺へもポストインをしました。

そのあと専従者3名で東北サンドのある大和町へ向かい、近隣住民に知ってもらうため鶴巣小学校の辺りを中心に1軒1軒ポストイン。勾当台公園前もふくめ全部で300枚程度を配布しました。

引き続き不当解雇撤回をもとめて運動を進めていきます。



広域支部結成めざして 第2回幹部会議を開く

10月22日(土)に、建交労東北ダンブ支部(仮称)の結成をめざしています。4月の幹部会議に続き、2回目の開催となりましたが、会場は、結成大会の下見も兼ねて、福島県飯坂温泉「ホテル大鳥」でした。

今回は中央本部の広瀬書記長も参加したことから、全国の組織の活動状況や、支部を広域化した場合の展望などについても、挨拶を兼ねた発言がありました。

各県の担当者が分担した、規約案や予算案、大会日程案などについて、様々な角度から討論を行ないました。ひとつの大きな課題は、当日の代議員がきちんと参加をして、張りのある正確なスタートを切れるかという事です。

代議員は8月の現勢に対して10人に1人の代議員を出すことが確認されました。予算案は、当面の人件費等は旧支部の責任とするため、広域支部の年間収入を1000万円として、これに見合った支出を組むことにしました。広域支部として本格的な活動を展開するためには、年間7千万円程度の収入が必要ですが、早期に実現する展望についても議論を深めました。

広域支部を結成する目的は、既に機関紙でも報告している様に、現場で働くダンブ労働者、建設労働者の年収を増やす闘いを、東北が一丸となって取り組むことです。経済的な闘争の現状は、独自に運動を展開している組織は相当の到達点を築いているものの、そうでない組織は大きく遅れています。

同じ全国ダンブ部会に結集しているのに、年収で300万円も差が出るのは異常な事態です。経済闘争が弱ければ、組織の拡大どころか衰退につながって行きます。東北ダンブは、全国的にも前例のない大きな闘いに挑戦しようとしています。

建交労東北ダンブ支部結成大会(予定)

日時 2022年10月22日(土)
13:00~ 各支部臨時大会(広域支部移行確認)
※事前に開催されていれば、省略します。
14:00~ 東北ダンブ支部結成大会
16:30~ 広域支部結成記念・団結懇親会
会場 福島市飯坂温泉・ホテル「大鳥」

白河以北一山百文

8月23日毎日新聞の「余録」に「岩手出身の平民宰相、原敬は『一山』と号し、落款印に『一山百文』と刻んだ。戊辰戦争時に新政府軍が東北を蔑視して使ったとされる『白河以北一山百文』をあえて用いた。藩閥政治を嫌った反骨精神の表れだった」とありました。

かつて、サントリーの佐治会長(故人)は首都機能移転を巡って、「東北は熊襲(蝦夷の間違い)の産地」と発言して、大規模な不買運動を起こされました。

仙台育英高校が全国大会で優勝して、高校野球史上初めて白河の関を越えました。かつては、甲子園の組み合わせ抽選会で、対戦相手が東北の高校だと分かると、相手校は小躍りして喜んだとも。

大都市の東京や大阪から見ると、東北は低く見られるというのは、令和の今も、私が時々感じる事です。(不必要な対立を煽る訳ではないが)

仙台育英高校にあやかって、私たちも優勝したいものです。私たちの優勝とは、広域支部を結成して、全国に先駆けた成果を上げ続ける事です。

因(ちな)みに、百文は7円だそうです。

晴釣雨読(せいちょううどく)

今年6月、日本各地で40度越えの熱波に見舞われ、世界各地でも極端な高温を記録し多くの死者が出ている。専門家は「人間が起こした地球温暖化が熱波を激しくしている」と指摘する。▼われわれ人類は、大気に大量の温室効果ガスを送り込んだ。まるでアスリートの能力を高めるドーピングのようなものだ、世界気象機関(WMO)は、記者会見で地球温暖化が熱波の強度や頻度を増していることを警告した。▼熱波は陸上だけでなく海にも存在することが分かって、サンゴ礁や藻場の生態系に悪影響を与え、食料危機の一因にもなると懸念される。▼ロシアのウクライナ侵攻がエネルギー危機を招く中で、危機に対応しつつも脱炭素社会を目指し、今起きている熱波や気象災害をきっかけに、温暖化対策の認識を高めるべきであろう。▼地球は過去1300年で最も暖かくなっている、国内では異常高温や大雨、干ばつなどのさまざまな気候変化の影響が出て、自然界や生態系に既に現れている。▼その生物の1つに、世界自然遺産白神山を源流に持つ赤石川の清流が育んだ「金(きん)アユ」も犠牲者だ。▼アユは、河口で産卵し海へ下り、海で冬を過ごし、翌年は生まれた川に戻り遡上とともに成長し、秋には河口へ下り産卵を終え1年で一生を終える魚であることから別名「年魚」とも呼ばれている。▼成長し成魚になると、川底の石につく藻を主な餌とすることで独特の香りがつくことから「香魚」とも言われ、塩焼きが最も美味しいと言われる。▼長い歴史と共に地球上に生き続けて来た赤石川の「金アユ」は古代の遺産であり、守り続けなければならない。「地球温暖化対策」は政界のトップリーダー達のパフォーマンスだけで終わらないで欲しいと願うのは、アングラー(釣り人)だけだろうか。

高橋 溪峰

金アユ：体が金色を帯びた鮎。香りが高く、味が良いと言われる。赤石川上流には、かこう岩が多くその岩に黄鉄鉱が大量に含まれ成分がアユに吸収され、背や腹部が金色になると言われている。

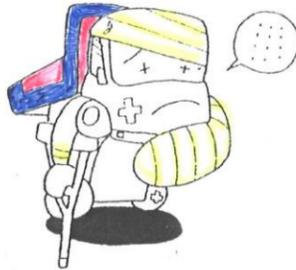
ダンプの任意保険の休業補償について

保険会社は交通事故の際のダンプの休業補償について、明確な基準を持っていません。したがって「確定申告書を提出してほしい」となり、書いてある所得金額を365日で割って、1日の休業補償額とすることが多いです。そこで、ダンプの実態にあった休業補償額を算出するため、根拠を示す必要があります。福島ダンプで実際行っている計算方法を紹介します。

ダンプの一人親方の特徴は、「業者でありながら、労働者の性質を持っている車持ち労働者」なので、自分の休業補償を請求するときは、事故前3か月の売上から使用した燃料とタイヤの損料を差し引いて計算しています。休業していれば、走行しないので燃料をたかないし、タイヤも減らないからです。下に計算例を示します。建設一人親方も同様に計算できます。

ところでダンプの場合、公共工事設計労務単価は全国平均1日あたり20,979円(2022年3月)となっています。休業補償は、所得の補償ではないので、最低でも労務単価+固定経費(減価償却費や保険料など)は補償されるべきと考えています。

我々は、ダンプの組合として出来る限り常識の範囲で休業補償の計算をしています。休業補償の算出については当事者の交渉になるので、原則本人が行います。



(例)過失割合が1:9、20日間休業の場合

事故前3ヶ月の売上を示す請求書・通帳コピー添付

事故前3ヶ月	9月(実働日数)	10月(実働日数)	11月(実働日数)
売上	902,366円(20日)	959,267円(23日)	1,058,365円(25日)

3ヶ月の合計2,919,998円÷68日=42,941円/日(円未満切り捨て)

事故前3か月の燃料の請求明細書コピーを添付

事故前3ヶ月	9月	10月	11月
燃料代(軽油)	211,903円	228,815円	333,972円

3ヶ月の合計774,690円÷68日=11,392円/日(円未満切り捨て)

売上42,941円-燃料11,392円=31,549円

31,549円-1,450円(1日あたりのタイヤの損料※国交省積算基準)=30,099円

30,099円×20日×90%(過失割合)=541,782円(本件の休業補償請求額)

※実際うける休業補償の金額は、保険会社との話し合いなので、違ってきます。

※添付資料

請求書のコピー、燃料の使用明細書コピー、国土交通省のダンプ一日あたりの標準積算の資料、国土交通大臣答弁、公共工事設計労務単価表など。

ことばのミニ事典…統一協会

文鮮明(1920~2012)が1954年に韓国で創設した世界基督教統一神霊協会。略称は統一協会。後にキリスト教会系を装うため「統一教会」を使い、各メディアにもこの表記を求めるようになった。統一協会は1958年に日本に入り、1964年に宗教法人に認証される。1970~90年代、正体を隠した勧誘、靈感商法、高額献金、集結婚式などが社会問題になり、カルト(反社会的な宗教団体)として知れ渡るようになる。1997年、世界平和統一家庭連合に改称。日本の文化庁は名称変更申請を拒み続けたが2015年、安倍政権下の下村博文文科相のとき認証した。

統一協会は1968年、韓国の朴正熙政権の庇護(ひご)の下、政治団体の国際勝共連合を設立し同年、日本にも右翼の笹川良一、岸信介元首相らとともに設立。共産主義壊滅をめざす勝共連合は自民党の選挙運動や国会議員秘書に統一協会信者を送り込むようになる。

日本での靈感商法などで収奪した資金(毎年数百億円が日本から韓国に)が政界工作にも使われ、多くの違法行為の摘発を免れてきた。政治家の集会での祝辞等は信者へのお墨付きとなった。



安倍元首相の

国葬 納得できません

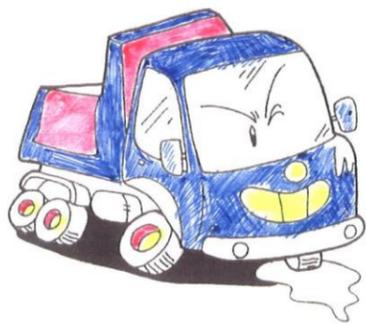
弔意強要

数々の疑惑・失政不問

立憲主義破壊

国政私物化

復興で活躍したダンプ労働者のクビを切るとは何んと御無体な!



親会社・太平洋セメントの御下命
⇒余ったダンプは解雇しろと



大和町鶴巣に東北サンド(株)という会社があります。太平洋セメントが親会社の山砂販売の会社です。この会社は東日本大震災発生後に、復興特需を当て込んで進出した会社です。復興工事では、防潮堤や道路などの建設が目白押しで、生コンや砂の大量注文がありました。

砂などの運搬手段はダンプカーの仕事になります。東北サンドは会社を立ち上げると、まずはダンプをかき集める事から始まりました。ダンプが集まらないため、はじめの頃は健康診断や懇親旅行など全部会社負担で、上げ膳据え膳の待遇でした。他社の仕事はやらない事も確認させられました。

ところが、震災発生から10年が過ぎ、復興工事も一段落すると、ダンプ労働者は社員でないでやめてくれ「親会社である太平洋セメントの指示なので東北サンドは従うしかない」と、一方的な解雇通告です。

たった一人のダンプ労働者を

何で首切る必要があるのか

首切りにあつた遠藤さんは、会社の必要に合わせて特殊なダンプを所有しています。会社は現在でも、約15台のダンプを稼働させており、たった一台のダンプを解雇する理由はありません。身勝手な首切りは許せません。

太平洋セメント本社と仙台銀行本店にも要請行動

東京都文京区にある太平洋セメント本社に、抗議と申し入れに行きましたが、担当者は居ないの一点張り、暴力団などに対応する総務担当が出て来るだけです。太平洋セメントのホームページには「法令遵守」と並んで「社会の常識・規範に則った行動をする」と明記されていますが、開いた口が塞がりません。

東北サンドの主力銀行は仙台銀行です。銀行は社会の公器ですから、法令遵守に背中を向ける融資先を指導する責任があります。パブル崩壊後に、国民の税金が銀行業界に注ぎ込まれたことを忘れてはなりません。復興工事を食い物にした身勝手な会社を許してはなりません。

私たちは不当解雇撤回まで頑張ります。市民の皆さんのご支援をお願いします。

連絡先：全日本建設交運一般労働組合全国ダンプ部会
東北地方協議会
2022年8月発行 仙台市青葉区台原5丁目1-28